

## 課題・テーマに係る対話 募集シート

## ◆募集の内容

課題・テーマ	新潟市の鉄道産業と鉄道文化を融合して発信！ ～ものづくり新潟は鉄道でも活きている～
課題・テーマの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市は全国に誇る鉄道産業地であり、一大鉄道基地でもある。鉄道産業は車両製作所や、車両基地として新幹線、在来線、貨物基地などがある。</li> <li>・鉄道文化では新津鉄道資料館、鉄道の街にいつ、月潟の新潟電鉄月潟駅・保存車両がある。</li> <li>・これらを融合し企業PRや市への誘客などの事業に活用する</li> </ul>
対話を募集する背景	新潟市内には全国に誇る鉄道産業が存在する。日本全国のJRや私鉄で使用されている車両や作業車、保守車、設備などを生産する技術を持つ会社がたくさんある。もっと全国に「新潟の鉄道産業と文化」として紹介し、ものづくり新潟の鉄道産業と鉄道文化を融合させて工場見学、運転体験などのツアーを企画し、企業は技術力や企業PRをしたらいかがか。
募集の対象	<p>■①連携の提案及び連携事業者の募集 鉄道産業を営む企業（JR、JR企画、製造業、保守業ほか） 鉄道ツアーなどの企画ツアーを扱う企業</p> <hr/> <p>注）■がこの募集の対象</p> <p>□②連携のアイディアのみの募集</p> <hr/> <p>□③意見交換</p>
新潟市が希望する提案（イメージ）	<p>①「鉄道産業と鉄道文化を巡るツアー」 ～鉄道交通を支える鉄道産業と鉄道文化の新潟～ E7系新幹線（または廃止が近いE4系）で新潟においていただき、ばんえつ物語号またはsyu*kuraに乗車してバスで市内の鉄道産業工場や基地を見学、鉄道資料館と鉄道の街にいつを見学</p> <p>②新津鉄道資料館サンクスフェア2019への出展 ブースで企業PR。保守車を持ち込み見学会。</p> <p>③新津鉄道資料館への鉄道資料の寄贈 新潟で使用されてきた鉄道関係用具や機器類を新津鉄道資料館と協議の上、寄贈。</p>
想定する提案	<p>上記に基づいて</p> <p>①工場見学の定期的な受け入れとツアー企画</p> <p>②企業概要紹介や製造車の展示、体験コーナーの設置</p> <p>③新潟ゆかりの鉄道資料の充実を図りたい。</p>

◆対話に当たっての条件

募集期間	2019年1月～
事業実施時期（予定）	前述の「想定する提案」に基づく ①企業の理解次第だが夏休みか鉄道月間の10月又は定期的に ②2019年7月中旬 ③いつでも
対話の申し込み	様式2「対話の申し込み兼提案書」を活用ください ※申し込み兼提案書の他、企画書等の関連資料の添付が可能
提案の選定方法 ※■のある方法で選定 ※募集対象①に限る	■特に選定を実施しない 幅広い企業との連携がより効果が上がる □審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞り込む） □提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 □その他（ ）
新潟市が提供できる メリット	前述の「想定する提案」に基づく ①鉄道資料館来館割引、学芸員職員による解説。鉄道の街に一つの商店街との連携 ②テントなどのブース用意 ③展示による御社の鉄道技術の紹介と保存・継承
予算措置の可能性	なし
その他留意点	①は市観光政策課等との協議と連携が必要
この募集内容についての問い合わせ先	文化スポーツ部 歴史文化課 新潟市新津鉄道資料館 電話：0250-24-5700（直通） Email： <a href="mailto:railwaymuseum@city.niigata.lg.jp">railwaymuseum@city.niigata.lg.jp</a>
対話の申し込み先	新潟市政策改革本部事務局 電話：025-226-1942（直通） Email： <a href="mailto:seisakukaikaku@city.niigata.lg.jp">seisakukaikaku@city.niigata.lg.jp</a> ※様式2等は上記電子メールアドレスまで送付ください。